

## 三重県埋蔵文化財センター 平成29年度刊行物

刊行物 総数 13件	発掘調査報告書	9件
	発掘調査概要報告	1件
	年報	1件
	ニュース・パンフレットほか	2件

PDFを公開しているものについてはインターネット上で閲覧することができます。

「所蔵品・図書」内の「図書の詳細検索ページ」で、ご覧になりたい書名を検索してください。

番号	書名	所収遺跡名	頁数	データサイズ	発行年月
115-34	森ヶ坪遺跡発掘調査報告	森ヶ坪遺跡(鈴鹿市)	353	58.3MB	H30.2
323-12	小社遺跡(第2・3・4次)発掘調査報告	小社遺跡(鈴鹿市)	98	73.3MB	H30.2
374	林上新田遺跡発掘調査報告	林上新田遺跡(津市)	26	89.8MB	H29.12
375	中坪遺跡(第2次)発掘調査報告	中坪遺跡(松阪市)	142	73.8MB	H30.3
376	梁瀬遺跡(第3次)発掘調査報告	梁瀬遺跡(津市)	18	9.3MB	H30.2
377	上野城下町遺跡(第6次)発掘調査報告	上野城下町遺跡(伊賀市)	36	32.2MB	H30.3
378	堀町遺跡(第6・7次)発掘調査報告	堀町遺跡(松阪市)	503	63.0MB	H30.3
379	平成24～27年度高度水利機能確保基盤整備事業(出江地区)埋蔵文化財発掘調査報告	梅ヶ瀬遺跡・屋瀬A遺跡・屋瀬B遺跡・下田遺跡・中切遺跡・新神馬場遺跡・山見遺跡(多気町)	126	81.1MB	H30.3
380	安養寺跡(第8次)・古堀遺跡(第9次)・北野遺跡(第9次)・露越遺跡(第10次)発掘調査報告	安養寺跡・古堀遺跡・北野遺跡・露越遺跡(明和町)	68	55.4MB	H30.3
7	近畿自動車道名古屋神戸線(四日市JCT～亀山西JCT)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概報Ⅶ	鈴山遺跡・折子遺跡・高ノ瀬遺跡・釜垣内遺跡(菟野町・鈴鹿市)	27	19.3MB	H29.9
—	平成28年度三重県埋蔵文化財年報		73	4.4MB	H29.11
2	東海環状自動車道発掘調査だより いなべ編No.2	四辻遺跡(いなべ市)	4	3.2MB	H29.9
3	東海環状自動車道発掘調査だより いなべ編No.3	田辺城跡(いなべ市)	4	43.6MB	H29.9

# 報告書抄録

ふりがな	いっばんこくどう23ごうちゅうせいどうろ(7こうく)けんせつじぎょうにともなう もりがつぼいせき はくつちようさほうこく							
書名	一般国道23号中勢道路(7工区)建設事業に伴う 森ヶ坪遺跡発掘調査報告							
副書名								
巻次								
シリーズ名	三重県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	11534							
編著者名	本堂弘之、長谷川哲也、原田恵理子							
編集機関	三重県埋蔵文化財センター							
所在地	〒515 0325 三重県多気郡明和町竹川503 TEL 0596 (52) 1732							
発行年月日	西暦2018年 2月 28日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °、’、”	東経 °、’、”	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
		市町村	遺跡番号					
もりがつぼいせき 森ヶ坪遺跡	みえけんすずかし 三重県鈴鹿市 みそのちよう 御菌町・ おうちちよう 越知町	207	1167	34° 49’ 25”	136° 31’ 51”	1次:2012. 8. 20 ~2012. 10. 29	2,320	一般国道23号 中勢道路 建設事業
						2次:2013. 5. 24 ~2014. 2. 13		
						3次:2014. 6. 5 ~2014. 7. 29	325	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
森ヶ坪遺跡	遺物散布地	縄文 弥生 古墳 飛鳥 中世	溝14条・井堰・ 井泉等	縄文土器・弥生土器・土 師器・須恵器・木製品等		遺物総重量117.72kg		
要約	中ノ川中流域右岸の沖積地に立地する森ヶ坪遺跡では、縄文時代中期から中世までの遺構・遺物を確認した。主体となるのは、弥生時代と古墳時代である。弥生時代の遺構には溝8条、井堰、井泉の周囲を溝で囲んだ空閑地があり、弥生時代から古墳時代前期に乱流していた溝からは杭や木製農具、土器等が大量に出土した。							

# 報告書抄録

ふりがな	こやしらいせき (だいに・さん・よじ) はつくつちょうさほうこく							
書名	小社遺跡 (第2・3・4次) 発掘調査報告							
副書名	鈴鹿市小社町所在							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号	323-12							
編著者名	服部芳人・萩原義彦							
編集機関	三重県埋蔵文化財センター							
所在地	〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503 TEL 0596-52-1732							
発行年月日	西暦2018年2月28日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
こやしらいせき 小社遺跡 (第 2・3・4次)	みえけんすずかし 三重県鈴鹿市 こやしらいせき 小社町	24207	1153	34° 57' 8"	136° 27' 10"	第2次 2012/10/19 } 2013/2/5 第3次 2014/4/18 } 2014/8/12 第4次 2016/1/12 } 2016/2/4	第2次 1,573㎡ 第3次 2,073㎡ 第4次 362㎡ 総面積 4,008㎡	近畿自動車道 名古屋神戸線 (四日市JCT～ 亀山西JCT) 建設事業
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
小社遺跡 (第 2・3・4次)	集落跡	室町時代～ 江戸時代	掘立柱建物・土坑・ 溝・井戸	弥生土器・陶器椀 (山茶椀)・中北勢系 土師器・陶器・磁器				
要 旨	小社遺跡では、室町時代～江戸時代の屋敷地及び掘立柱建物・溝・土坑・井戸を検出した。これらの遺構は、いくつかの溝で囲まれた中で確認されたため、複数の屋敷地があるものと思われる。							

## 報告書抄録

ふりがな	こくえいしせつきのうほぜんじぎょうちゅうせいようすいちくにともなう      はやしかみしんでんいせき はつくつちようさほうこく							
書名	国営施設機能保全事業「中勢用水地区」に伴う 林上新田遺跡発掘調査報告							
副書名								
巻次								
シリーズ名	三重県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	374							
編著者名	長谷川哲也、原田恵理子							
編集機関	三重県埋蔵文化財センター							
所在地	〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503 TEL 0596 (52) 1732							
発行年月日	西暦2017年12月15日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °、’、”	東経 °、’、”	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
はやしかみしんでんいせき 林上新田遺跡	みえけんつし 三重県津市 げいのうちようはやし 芸濃町林	調査原因	市町村	34° 49’ 34”	136° 24’ 56”	1次：2014. 1. 22	18  146	国営施設機能 保全事業 「中勢用水地区」
						2次：2017. 7. 20 ～2017. 7. 31		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
林上新田遺跡	遺物散布地	近世	溝 土坑 ピット	土師器、陶器、磁器、瓦				
要約	<p>林上新田遺跡は、安濃川中流域左岸の段丘上に立地する。石器の散布がみられ、縄文時代の遺跡として周知されている。</p> <p>今回、北端部分を調査した結果、溝1条、土坑5基、柱穴とみられるピットを検出した。しかし、削平によって遺存度は良くなく、出土遺物も僅少であったため、いずれの遺構も時期を特定するには至らなかった。</p>							

## 報 告 書 抄 録

ふりがな	なかつぼいせき（だいにじ）はつくつちょうさほうこく							
書名	中坪遺跡（第2次）発掘調査報告							
副書名								
シリーズ名	三重県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	375							
編著者名	谷口 文隆 渡辺 和仁							
編集機関	三重県埋蔵文化財センター							
所在地	〒515 0325 三重県多気郡明和町竹川503 TEL 0596 52 1732							
発行年月日	西暦2018年3月							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	発掘原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° ' "	° ' "		m <sup>2</sup>	
なかつぼいせき 中坪遺跡	みえけんまつさかしたつちょう 三重県松阪市立田町	24204	a 907	34° 33' 57"	136° 34' 26"	20140421～ 20150116	1,100	高度水利機能確保基盤 整備事業（朝見上地区）
所収遺跡名	種 別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
中坪遺跡	集落跡	古代・中世	掘立柱建物・井戸 溝・土坑		土師器・須恵器 緑釉陶器・陶器（山茶碗） 木製品・鉄製品			
要 約	中坪遺跡は榑田川左岸沖積地に位置する。本遺跡は縄文時代中期末から室町時代にかけての集落跡である。古代の道路遺構及び溝と中世の屋敷地が検出された。掘立柱建物は、鎌倉時代の側柱建物が1棟、室町時代の総柱建物が2棟確認でき、井戸は鎌倉時代のものが16基、室町時代のものが3基である。また室町時代の区画溝は幅2mのものが東西方向に3条延びており、3区画の屋敷地が考えられる。さらに室町時代末の長方形の土坑からは、土師器が大量に出土した。他にも古代の溝から須恵器獣脚付壺や緑釉陶器香炉が出土しており、南に位置する朝見遺跡と関連する重要な地点である可能性が考えられる。							

三重県埋蔵文化財調査報告 375

中坪遺跡(第2次)発掘調査報告  
2018(平成30)年3月

編集 三重県埋蔵文化財センタ  
発行  
印刷 (有)ミフジ印刷

# 報告書抄録

ふりがな	やなせいせき (だい3じ) はくつちょうさほうこく							
書名	梁瀬遺跡 (第3次) 発掘調査報告							
副書名								
巻次								
シリーズ名	三重県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	376							
編著者名	水谷侃司							
編集機関	三重県埋蔵文化財センター							
所在地	〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503 TEL 0596-52-1732							
発行年月日	2018(平成30)年2月28日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
やなせいせき 梁瀬遺跡	みえけんつしのだ 三重県津市野田	201	848	34度 71分 50秒	136度 47分 03秒	2017/1/16 ～ 2017/1/17	110㎡	高度水利機能 確保基盤整備 事業(野田地区)
所収遺跡名	種別	時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
梁瀬遺跡	集落跡	中世	土坑・自然流路		灰釉陶器・山茶碗			
要 約	<p>梁瀬遺跡は、津市野田のおごえ川によって形成された沖積地に位置する。主な遺構は、土坑や溝、おごえ川の旧流路か支流と考えられる自然流路が確認された。遺物の数量はごくわずかであるが、灰釉陶器と山茶碗が出土している。梁瀬遺跡は、ベースとなる層が旧流路の位置で最も低く、土坑や柱穴の位置で高くなっていることから、微高地上に集落が形成されたものと考えられる。</p>							

## 報告書抄録

ふりがな	うえのじょうかまちいせき (だい6じ) はくつちょうさほうこく							
書名	上野城下町遺跡 (第6次) 発掘調査報告							
副書名								
巻次								
シリーズ名	三重県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	377							
編著者名	水谷侃司							
編集機関	三重県埋蔵文化財センター							
所在地	〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503 TEL 0596 (52) 1732							
発行年月日	2018 (平成30) 年3月9日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
うえのじょうかまちいせき 上野城下町遺跡	みえけんいがし 三重県伊賀市 うえのひがしまち 上野東町	216	a1230	34度 45分 59秒	136度 07分 51秒	20161215 ～ 20170829	140㎡	街路整備事業 (街路) 伊賀上 野橋新都市線
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
上野城下町遺跡	城館跡	近世	土坑		土師器・陶磁器・瓦・鉄製品			
要約	<p>上野城下町遺跡は近世の城下町遺跡である。調査地は、津城と上野城を結ぶ伊賀街道（本町通り）と上野城東大手門より南下する東ノ堅町筋の交わる地点に位置する。絵図によると、上野城東大手門南の町屋が存在した地点である。近代以降の開発により、大きく攪乱を受けており、近世以前の遺構はほとんど確認されなかった。造成土中及び、近世包含層より17世紀～19世紀の土師器・陶磁器・瓦・鉄製品などの遺物の出土が確認された。</p>							

# 報告書抄録

ふりがな	ほりまちいせき (だい6・7じ) はつくつちようさほうこく							
書名	堀町遺跡 (第6・7次) 発掘調査報告							
副書名								
巻次								
シリーズ名	三重県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	378							
編著者名	石井智大、小原雄也							
編集機関	三重県埋蔵文化財センター							
所在地	〒515 0325 三重県多気郡明和町竹川503 TEL 0596 (52) 1732							
発行年月日	2018(平成30)年3月16日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ほりまちいせき 堀町遺跡	まつさかしあさだちよう 松阪市朝田町	204	a 646	34度 34分 16秒	136度 33分 58秒	20130510 ∩ 20140212 (第6次)	5,463㎡	平成25年度高度水利機能確保基盤整備事業(朝見上地区)
						20140917 ∩ 20150120 (第7次)		720㎡
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
堀町遺跡	集落跡	縄文～江戸	掘立柱建物・井戸・土坑・溝・自然流路	土器・陶磁器・石製品・金属製品・木製品				
要約	<p>堀町遺跡は櫛田川左岸の低地に位置する。今回の調査では、縄文時代から近世の遺構・遺物が確認された。第6次調査6・7区の下層では縄文時代中期末の遺物が集中的に確認され、竪穴建物の可能性もある落ち込みも検出された。第6次調査4区では縄文時代後期の土器も出土している。縄文時代に、低地の微高地上において活発な人間活動が行われていたことが判明したことは、今回の調査成果として特筆される。</p> <p>飛鳥時代や奈良時代の遺構は希薄であるが、第5次調査と同様に、平安時代から室町時代にかけての井戸や溝などが多数検出され、多くの遺物が出土した。特に、平安時代の墨書土器が多く出土したことは、遺跡の性格を考える上で注目される。</p> <p>また、今回の調査区は、現在の朝田集落の北縁部にあたり、朝田集落の前身である近世朝田村に関わると思われる近世の遺構・遺物も多く確認できた。二次的に被熱した陶磁器類が多く投棄された土坑もあり、江戸時代後期に集落内で火災が発生したことが窺われる。</p>							

# 報告書抄録

ふりがな	へいせい24～27ねんどこうどうすいりきのうかくほきばんせいびじぎょう (いずえちく) まいぞうぶんかざいはくつちょうさほうこく							
書名	平成24～27年度高度水利機能確保基盤整備事業（出江地区）埋蔵文化財発掘調査報告							
副書名								
巻次								
シリーズ名	三重県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	379							
編著者名	渡辺和仁、小原雄也							
編集機関	三重県埋蔵文化財センター							
所在地	〒515 0325 三重県多気郡明和町竹川503 TEL 0596 (52) 1732							
発行年月日	2018(平成30)年3月9日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
うめがせいせき 梅ヶ瀬遺跡	たきぐんたきちやうしむいづえ 多気郡多気町下出江	441b	101	34度 28分 44秒	136度 28分 34秒	20130306 ～ 20130312	24.0㎡	高度水利機能 確保基盤整備 事業 (出江地区)
やせえいせき 屋瀬A遺跡	たきぐんたきちやうしむいづえ 多気郡多気町下出江	441b	102	34度 28分 40秒	136度 28分 35秒	20130306 ～ 20130312	24.0㎡	高度水利機能 確保基盤整備 事業 (出江地区)
やせびいせき 屋瀬B遺跡	たきぐんたきちやうしむいづえ 多気郡多気町下出江	441b	103	34度 28分 36秒	136度 28分 24秒	20140917 ～ 20141226	584.2㎡	高度水利機能 確保基盤整備 事業 (出江地区)
しもだいせき 下田遺跡	たきぐんたきちやうしむいづえ 多気郡多気町下出江	441b	106	34度 28分 28秒	136度 28分 34秒	20140917 ～ 20141226	647.0㎡	高度水利機能 確保基盤整備 事業 (出江地区)
なかぎりいせき 中切遺跡	たきぐんたきちやうしむいづえ 多気郡多気町下出江	441b	95	34度 27分 53秒	136度 28分 10秒	20150918 ～ 20160122	211.1㎡	高度水利機能 確保基盤整備 事業 (出江地区)
しんかみばんばいせき 新神馬場遺跡	たきぐんたきちやうしむいづえ 多気郡多気町下出江	441b	96	34度 27分 55秒	136度 27分 59秒	20150918 ～ 20160122	206.9㎡	高度水利機能 確保基盤整備 事業 (出江地区)
やまみいせき 山見遺跡	たきぐんたきちやうしむいづえ 多気郡多気町下出江	441b	104	34度 28分 7秒	136度 28分 10秒	20150918 ～ 20160122	779.1㎡	高度水利機能 確保基盤整備 事業 (出江地区)

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
梅ヶ瀬遺跡	集落跡		なし	なし	範囲確認調査
屋瀬A遺跡	集落跡		なし	なし	範囲確認調査
屋瀬B遺跡	集落跡	江戸	土坑・溝	土師器・陶磁器	
下田遺跡	集落跡	室町～江戸	溝・道路	土師器・陶磁器・土錘・鉄滓	波板状の凹凸痕跡を検出
中切遺跡	集落跡	江戸	土坑・井戸・溝	土師器・陶磁器	
新神馬場遺跡	集落跡	鎌倉～室町	掘立柱建物・土坑・溝	土師器・陶器・土錘・鉄製品	南東隅土坑を検出
山見遺跡	集落跡	平安時代末～鎌倉	掘立柱建物・土坑・溝	縄文土器・石器・土師器・陶器・土錘・鉄製品・鉄滓	南東隅土坑を検出 磨製石斧が出土
要 約	<p>屋瀬B遺跡（第2次）では、時期不明の溝と土坑を確認した。</p> <p>下田遺跡（第1次）では、複数の溝と道路1条を確認した。道路の路面と考えられる部分では凹凸痕跡（いわゆる波板状の凹凸痕跡）を検出した。これらの遺構は、出土遺物が限定的であるため、不明なものも多いが、室町～江戸時代（15世紀前半以降）と考えられる。</p> <p>中切遺跡（第1次）では、土坑・井戸などを確認した。瀬戸美濃産の陶器、肥前産の磁器をはじめ、江戸時代後半（18世紀中頃～19世紀前半）の遺物が出土した。これらの遺構は「伊勢国飯高郡下出江村全図」にある宅地の状況とおおよそ符合することが明らかとなった。</p> <p>新神馬場遺跡（第4次）では、掘立柱建物や土坑・溝などを確認した。掘立柱建物内部の南東隅では土坑（いわゆる南東隅土坑）を検出した。南伊勢系土師器や山茶碗、土錘、鉄釘、板状鉄製品をはじめ、鎌倉時代後半～室町時代（13世紀中頃～15世紀前半）の遺物が出土した。</p> <p>山見遺跡（第1次）では、掘立柱建物や溝・土坑などを確認した。掘立柱建物には新神馬場遺跡（第4次）と同様に建物内の南東隅で土坑1基を検出した。南東隅土坑からは、通常の土師器のほか、ロクロ土師器や山茶碗、土錘、鉄製の鑿、鉄滓など平安時代末（12世紀後半）の遺物が多く出土し、土坑内に廃棄された状況が明らかになった。そのほか、縄文時代後期と考えられる縄文土器の深鉢の破片や磨製の両刃石斧が出土し、近隣に縄文時代の遺構が存在する可能性が推測できる成果となった。</p> <p>また、山見遺跡（第1次）から出土した鉄滓については、鉄成分の分析調査を行い、鍛造鉄製品を加工した際のものであることが明らかとなった。</p>				

# 報 告 書 抄 録

ふりがな	あんようじあと（だいほちじ）・ふるぼりいせき（だいくじ） きたのいせき（だいくじ）・つゆこしいせき（だいじゅうじ）はつくつちょうさほうこく							
書名	安養寺跡（第8次）・古堀遺跡（第9次）・ 北野遺跡（第9次）・露越遺跡（第10次）発掘調査報告							
副書名	多気郡明和町上野・斎宮							
巻次								
シリーズ名	三重県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	380							
編著者名	鐸木厚太							
編集機関	三重県埋蔵文化財センター							
所在地	〒515 - 0325 三重県多気郡明和町竹川503      Tel0596 - 52 - 1732							
発行年月日	2018年3月9日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
あんようじあと 安養寺跡	たきぐんめいわちよう 多気郡明和町  うえの 上野	24442	523	34度 31分 56秒	136度 37分 46秒	2016. 10. 11～ 2017. 3. 14	延べ700㎡	平成28年 度高度水 利機能確 保基盤整 備事業
ふるぼりいせき 古堀遺跡		24442	746					
きたのいせき 北野遺跡		24442	228					
つゆこしいせき 露越遺跡	たきぐんめいわちよう 多気郡明和町 さいくう 斎宮	24442	207	34度 32分 6秒	136度 36分 45秒			
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
安養寺跡	寺社跡	奈良	土師器焼成土坑、 土坑、溝	土師器（杯・皿・甕 など）				
古堀遺跡	生産遺跡	奈良	土師器焼成土坑、 土坑、溝	土師器（杯・皿・ 甕・筒形土器など）				
北野遺跡	生産遺跡	奈良	土坑、溝	土師器（杯・甕など）				
露越遺跡	散布地	中世	土坑、溝	土師器、陶器、石器				
要旨	<p>安養寺跡では、奈良時代の土師器焼成土坑や堅穴建物、良好な土器がまとまって出土した土坑を確認した。古堀遺跡では、奈良時代の遺構・遺物が確認され、中でも土師器焼成土坑の残存状況と土器資料が良好な事例となる。北野遺跡では、奈良時代の遺構や遺物が散布的に確認された。以上の3遺跡は、奈良時代の土師器焼成に関する一連の痕跡だと考えられる。露越遺跡では、縄文時代から近世にかけての遺構・遺物を確認したが、主な時代は中世前期で、山茶碗や土師器が出土した。</p>							

## 報告書抄録

ふりがな	きんぎじどうしやどうなごやこくべせん (よっかいちじやんくしよんからかめやましじやんくしよん) けんせつじぎょうにともなうまいぞうふんかざいはくつちようさがいはう なな							
書名	近畿自動車道名古屋神戸線 (四日市JCT～亀山西JCT) 建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概報Ⅶ							
副書名								
巻次								
シリーズ名	近畿自動車道名古屋神戸線 (四日市JCT～亀山西JCT) 建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概報							
シリーズ番号	Ⅶ							
編著者名	服部芳人・泉 賢治・西脇智広・村上 央							
編集機関	三重県埋蔵文化財センター							
所在地	〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503			TEL 0596-52-1732				
発行年月日	西暦2017 (平成29) 年 9 月							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
すずやまいせき 鈴山遺跡	こものちようおとわ 菰野町音羽	24341	136	35° 1' 28"	136° 27' 52"	20160411 ～20160414	一次調査 174	近畿自動車道名 古屋神戸線 (四 日市JCT～亀山 西JCT)
						20160607 ～20160927	第3次調査 1,563	
おりこいせき 折子遺跡	すずかしやまもとちよう 鈴鹿市山本町	24207	1343	34° 57' 45"	136° 27' 57"	20160621 ～20160701	一次調査 570	
たかのせいせき 高ノ瀬遺跡	すずかしやまもとちよう 鈴鹿市山本町	24207	1342	34° 57' 41"	136° 27' 48"	20160613 ～20160620	一次調査 237.5	
かまがいといせき 釜垣内遺跡	すずかしおぎすちよう 鈴鹿市小岐須町	24207	1032	34° 56' 57"	136° 27' 10"	20160418	工事立会 50	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
鈴山遺跡	集落跡	縄文	堅穴住居・陥し穴 (中期)		縄文土器 (中期)・ 石器 (石鏃・石錘など)			
折子遺跡	包蔵地	鎌倉～	なし		なし			
高ノ瀬遺跡	包蔵地	鎌倉～	なし		なし			
釜垣内遺跡	集落跡	縄文・奈良・ 平安・中世	なし		なし			
要約	<p>【鈴山遺跡】 三滝川上流北岸の音羽集落南側にある縄文時代の遺跡である。今回の第3次調査では、堅穴住居5棟と、陥し穴2基を確認した。なお、堅穴住居のうち1棟は、石囲い炉を有しており、北勢地域における縄文時代中期の状況を知る上で重要である。遺物は、縄文時代中期の土器片や石鏃、石錘などが出土した。</p> <p>【折子遺跡】 平成24年度の一次調査では、全ての調査坑(T1～T6)においてピットを検出したが、形状と埋土の状況から、根などの攪乱と判断した。また、遺物は出土しなかった。今回の調査は、平成24年度の調査範囲の北側と東側に幅2.5mの調査坑を5本 (T7～T11) 設定して行った。検出面は、黄褐色土を主体とした地山面であり、深度は35cm～105cmであった。T10・T11の調査坑から、現代の溝を確認したにとどまり、遺物も出土しなかった。</p> <p>【高ノ瀬遺跡】 平成24・26年度の一次調査では、土器器片や灰釉陶器片が出土したが、安定した遺構面は無く、遺構は確認していない。また、平成27年度の一次調査でも、遺構も遺物も検出されなかった。今回の調査は、幅2.5mの調査坑を3本 (T42～T44) 設定して行った。表土及び黒色土の下の一部で粘質土層を確認したが、それより下は粘質土と礫層が互層をなし、安定した検出面は確認されず、遺構は検出されなかった。遺物も出土しなかった。</p> <p>【釜垣内遺跡】 鈴鹿市小岐須町、御幣川と鍋川に挟まれた扇状地上にある遺跡である。平成24年に実施した第2次調査では中世の溝に囲まれた建物群が確認された。中世の溝であるSD1が調査区の西側に伸びることが推測されたため、今回、工事立会を実施した。表土からの深さが約90cmで、検出面下に及んだが、水道管工事や道路舗装に伴う攪乱溝を多数確認したにとどまり、遺物も出土しなかった。</p>							

近畿自動車道名古屋神戸線  
(四日市JCT～亀山西JCT) 建設事業に伴う  
**埋蔵文化財発掘調査概報Ⅶ**

2017 (平成29) 年 9 月

編集・発行 三重県埋蔵文化財センター  
印刷 有限会社 ミフジ印刷